

先進校視察報告

鳥取県

鳥取市立湖南学園



訪問日 平成23年8月10日(木)

対応者 校長 安藤重敏 氏
副校長 豊福 聡 氏
教頭 高木雅子 氏
教務主任 大高 勝 氏

訪問者 新富町立新田小学校 教頭 小畑隆市
新富町立新田中学校 教頭 小嶋雅史

小中一貫校としての成果

○ 学力向上につながった。「知」

- ・ 平成22年度全国学力調査(6年、9年生)で、国語、算数・数学ともに大幅に平均以上
- ・ 全国学力調査で、過去2年と比較して大幅に向上してきている。

○ 自信をもった子どもたちが増えてきた。「徳」

- ・ 全国学力調査質問紙「難しいことでもあきらめず挑戦している」など全国比+10~20%
- ・ 不登校がいなくなった。

○ 体力や運動能力が高まってきた。「体」

- ・ 小体連や部活動の成績が良くなってきている。

※ 地域からも好意的な評価を受けている。地域とのつながりも深まっている。

※ 教師の授業が変わった。(変わらざるを得ない。)

小中一貫校としての課題

○ 6年生としての自覚、リーダーシップが弱くなったのではないか。

○ 人員の確保。職員のモチベーションの維持。

湖南地域の特徴

- ・ 温泉のある湖や自然に囲まれた地域
- ・ もとは1小、1中の小規模校である。
- ・ 地域の方々は教育に熱心で協力的である。
- ・ 統廃合するのではなく、学校の存続を強く希望する地域の意向。



【校内にある足湯】

・・・地域、保護者、学校が一緒になり建設

児童生徒数			
	男	女	計
1年	9	9	18
2年	9	5	14
3年	7	6	13
4年	7	10	17
5年	7	8	15
6年	10	8	18
小学校計	49	46	95
7年	11	6	17
8年	13	10	23
9年	2	11	13
中学校計	26	27	53
学園計	75	73	148

通学方法	人数
徒歩	117人
自転車	15人
バス	16人

一貫校の歩み

「湖南に一貫校を」(推進の契機)

地域

学校の存続に対する地域の意向
地域振興を図る地域の自主的な取り組み

鳥取市

児童生徒の減少に対し義務教育を一体としてとらえる施策
鳥取市小中一貫校推進事業の開始

準備

(平成16年度
~平成19年度)

「小中一貫校研究推進委員会」の設置
「小中一貫校検討委員会」の設置
「小中一貫校推進委員会」の設置
「鳥取市小中一貫校推進指定校」

開校

(平成20年度)

「構造改革特別区域計画」申請・認可
小中一貫校の開校(隣接型一貫校として運営)
一部教職員の小中兼務

一体型校舎

(平成21年度)

小中PTAを統一
一体型校舎による小中一貫校のスタート
全職員小中兼務体制

第I期3年次

(平成22年度)

小中一貫校春季発表会
小中一貫校秋季発表会
小規模特別転入制度導入

第II期開始

(平成23年度)

5、6年生に新制服を導入
小中一貫教育推進事業モデル校指定

小中一貫校としての
の取組

4年間の準備期間

1年目は、隣接型
(併設型)

2年目は、一体型
(併置型)

4年目からは第2ステ
ージとしての位置づけ

小中一貫校としてのミッション



※平岩小・中学校の基本的な考え方を取り入れられた

特徴①

↓

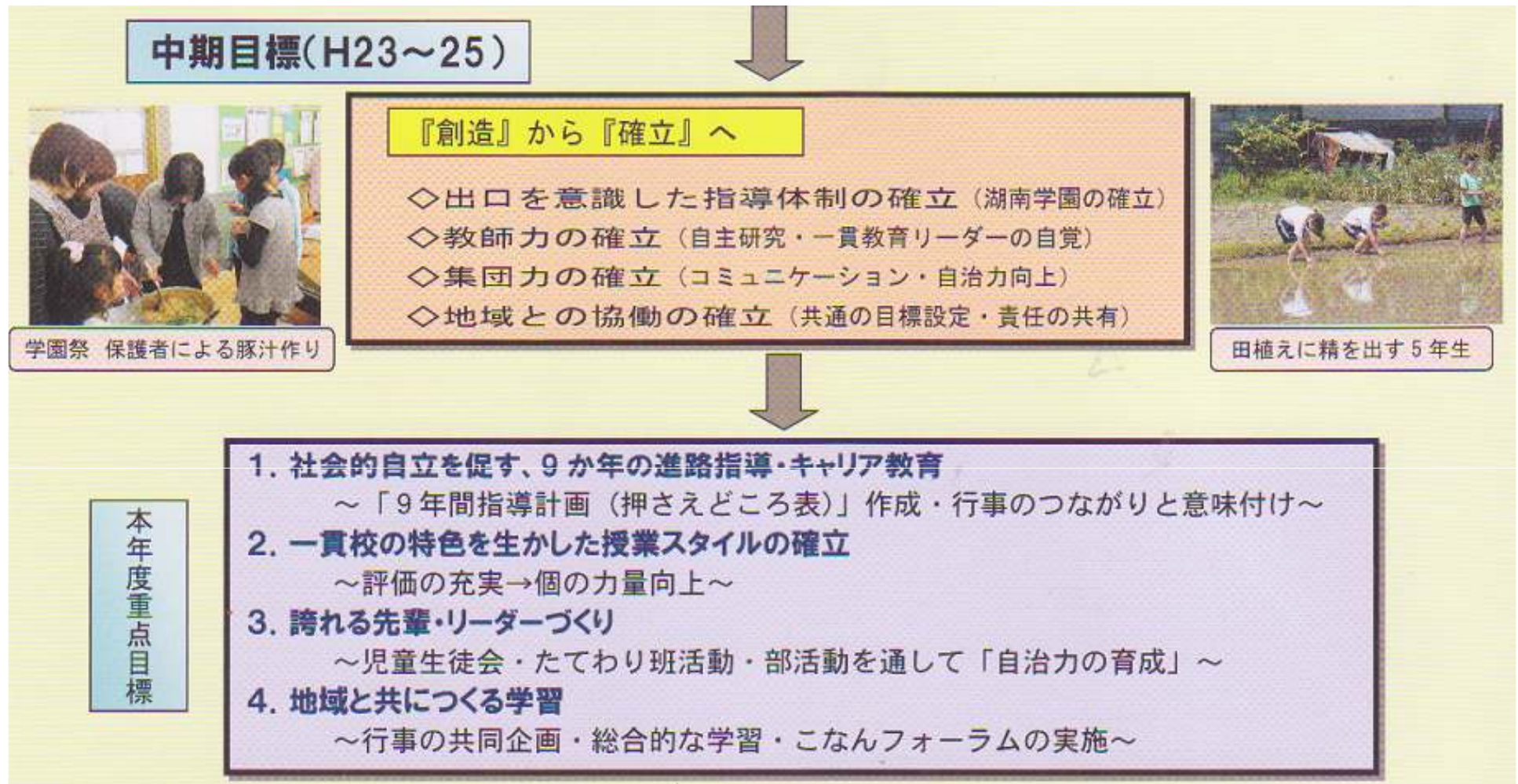
めざす児童生徒像

<4・3・2ブロック制>

観 点	初 等(1～4年)	中 等(5～7年)	高 等(8, 9年)
磨 <	よく聞き、繰り返しがんばる	進んで調べ、まとめ、伝えあう	自立した学びができる
敬 う	元気に、あいさつや返事をする	場に応じた言葉遣いや行動をする	リーダーらしい言動をとる
競 う	「負けるもんか！」とがんばる	良きライバルとしてぶつかり合う	ともに励まし、ともに高め合う
つなぐ	湖南の人や自然と仲良くする	湖南に進んでかかわろうとする	湖南の未来を考える

- 9年間を3つのブロックに分けている。
- ブロックの節目に修了式(9年生は卒業式)を実施している。
 - ・ 6年生は、小学校課程修了式を実施

特徴②



- これまでの3年間を第1ステージ「創造」期、今年からを第2ステージ「確立」期と捉え、さらに充実した一貫校を目指されている。

特徴③

カリキュラム表

	初 等				中 等			高 等		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9A	9B
国 語	306	315	245	245	175	175	140	140	105	105
社 会			70	90	100	105	105	105	140	105
算 数 / 数 学	136	175	175	175	175	175	140	105	140	140
理 科			90	105	105	105	105	140	140	105
生 活	102	105								
音 楽	68	70	60	60	50	50	45	35		35
図工 / 美術	68	70	60	60	50	50	45	35		35
家庭 / 技術・家庭					60	55	70	70		35
体育 / 保健体育	102	105	105	105	90	90	105	105		105
外 国 語							120	140		140
道 徳	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35
特 別 活 動	34	35	35	35	35	35	35	35	35	35
自 立										70
選択教科等							0	0	0	0
総合的な学習の時間			50	50	50	50	35	35	35	35
コミュニケーション科	34	35	35	35	55	55	35	35	35	35
総 授 業 時 数	884	945	960	995	980	980	1015	1015	1015	1015

○教科として、「コミュニケーション科」の設置

特徴④

生活時間表

	初 等	中等・高等
朝の読書	8:15~ 8:25	8:15~ 8:25
朝 の 会	8:25~ 8:40	8:25~ 8:35
1 校 時	8:40~ 9:25	8:40~ 9:30
2 校 時	9:35~10:20	9:40~10:30
中間休憩	10:20~10:35	
3 校 時	10:40~11:25	10:40~11:30
4 校 時	11:35~12:20	11:40~12:30
給 食	12:20~13:05	12:30~13:05
昼 休 憩	13:05~13:30	13:05~13:30
掃 除	13:35~13:50	13:35~13:50
5 校 時	13:55~14:40	13:55~14:45
モジュール	14:40~14:55	
6 校 時	14:55~15:40	14:55~15:45
終わりの会	15:40~15:55	15:50~16:05

- 授業スタートは4コマ分が同時間で、その時のみチャイムが鳴る。

特徴⑤

段階的な教科担任制と小中相互乗り入れ授業

■・・・部分が小学校本務者と中学校本務者の相互乗り入れ授業 TT・・・チームティーチング

学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年 A組	9年 B組
国 語				書写						
算数・数学		TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT
生 活										
社 会						TT				
理 科				TT	TT	TT		TT		
音 楽										
図工・美術										
体育・保体		TT						TT		
技 術										
家 庭										
英 語										
総 合			TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT
道 徳										
学 活										
自 立										
コミュニケーション	英語活動	TT	TT	TT	TT	TT	TT			
	たてわり活動	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT	TT
	コミュニケーションワーク									
担任の持ち教科数/教科数	5/6	4/6	4/7	3/7	1/8	2/8	1/9	1/9	1/9	1/9

○ 5年生から基本的に教科担任制である。

特徴⑥

年間行事予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
前期	入学式 たてわり班結成式 リーダー研修	全校遠足 6年県外研修 定期テスト	4・5・7年吉備宿泊研修 8年職場体験学習 東部中総体	定期テスト 市水泳大会		湖南地区大運動会 東部中駅伝 市陸上大会
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
後期	リーダー研修	学園祭 こなん駅伝 定期テスト	球技大会		8年修学旅行 定期テスト	9年卒業式 6年小学校課程修了式 4・7年ブロック修了式

○2学期制である。

○4年生から7年生まで県外での体験研修等がある。

○全学年(全教科ではない。)定期テストを実施している。

特徴⑦

児童生徒会

執行部

<p>会長 田中美帆</p> <p>副会長 山下知恵</p> <p>副会長 西尾栞哉</p>	<p>総務 岸本透真</p> <p>総務 小林修知</p> <p>総務 松岡隆祐</p>
---	---

専門委員	生活	環境	文化	健康
5年	前川かな	川口昂輝	菅田真由	小林大洋
6年	西尾栞哉	徳木直史	高田寛司	久野真佳
7年	前川聖也	財原史輝	菅田紀洋	前川遥香
8年	新野 祥	松尾 尚		
9年	高木 麻			

評議員	
初年代表	松本 麗生 7年生 伊木 智也 三宅 聖輝
5年生	小川 佳祐 8年生 陳 加 浩 香 塚 本 謙 也
6年生	西尾 栞哉 9年生 前川 聖也 菅田 紀洋

たてわり活動

5年生からの自治活動



特徴⑧

平成 23 年度 職員名簿・分掌・教科・部活動						
管理職・教務・事務			中等ブロック5年生～7年生担当			
安藤 重敏	校長	中	渡邊 直子	中等ブロック長、社会、家庭科、茶道	小	
豊福 聡	副校長、社会	小	松田 由香里	5年担任、算数、数学、茶道、司書教諭	小	
高木 雅子	教頭、音楽	中	戸板 正哉	6年担任、体育	小	
大高 勝	教務主任、算数、理科	小	村上 かおり	7年担任、国語、テニス女子	中	
杉田 克己	教務主任、英語、バレー女子	中	井上 慶亮	生徒指導主事、理科、バスケット男子	中	
村尾 桂子	事務主幹	中	蜂谷 奈保子	養護教諭	中	
陶山 恵里	事務主事	小	リリー モズビ	ALT	中	
木下 美香	学校囃託員	兼	高等ブロック 8年生・9年生担当			
初等ブロック 1年～4年生担当			砂場 直巳	高等ブロック長、進路指導主事、数学、テニス女子	中	
原田 章雄	初等ブロック長、算数、理科	小	福田 仁	8年担任、社会、テニス男子	中	
森本 由紀美	1年担任、人権教育主任、バスケット男子	小	吉田 有希	9年A組担任、特活部長、保健体育、バレー女子	中	
浅井 美和	2年担任、音楽、アンサンブル	小	森田 美貴子	9年B組担任、理科、アンサンブル	中	
松田 淑恵	3年担任、家庭科	小	原田 二郎	研究主任、国語、テニス男子	中	
伊藤 賢二	4年担任、保体部長、体育	小	田原 絵美	生徒指導専任相談員	中	
高濱 さと子	初等ブロック補任、美術・図工、華道	中	加藤 靖志	技術(南中と兼務)	中	
西谷 淳子	学校図書館司書	兼	小…小学校が本務、中学校が兼務の職員 中…中学校が本務、小学校が兼務の職員 兼…小学校、中学校兼務の職員			
吉田 ひろみ	養護教諭	小				

○全職員が兼務体制である。(本務が小や中がある。)

○初等ブロックに本務が中の職員もいる。

○職員室もブロック毎に配置し、職朝に続いて、ブロック会を実施。

その他 印象に残った言葉

- 小中一貫校の分離型(連携型や併設型)は、行き詰まっているのではないか。(全国大会を見てきて)
- 小中一貫校は、9年間の子どもたちの成長(幼児期から青年前期まで)を見ることができる。なんと素晴らしいことか。
- 連携の段階は握手で済むが、協働していくと責任まで共有しないといけない。
- 教師の意識が変わり、授業も変わる。言葉かけも変わる。そうすると子どもたちはぐんぐん伸びる。
- 子どもたちは本当に頑張っている。教職員も負けてたまるか。
- 今年は、12月8日に、自ら研究発表会を実施する。
- 小中学校の文化の違いによる摩擦はあったが、一つ屋根の下で仕事をしている中で、「小学校は、」「中学校は、」という言葉が聞かれなくなってきた。
- 効果を高めるためには、人員の確保が重要である。